

品川郷土の会 会報

令和4年(2022)4月
復刊第123号

発行人 坂本道夫
編集人 野口健夫

第469回例会開催

新型コロナ蔓延防止措置も終わり、世の中は平常生活に向かいつつあります。とはいえコロナ前は春の大きなイベントだった各地の桜まつりは中止になりました。既に八重桜さえ散った、4月23日(土)午後中小企業センター3階中会議室で第469回例会を開催しました。

今回は参加者が9名でした。

今回は前時代的な甲骨文字というやや硬いテーマでしたので、今回は特定の



テーマ調査発表でなく、区民でありながら、知っているようで知らない、記憶から消えた「しながわアルアル」的な項目を野口副会長が放談風に講演しました。

主な項目は下記の通りです。

- 「海晏寺にあった巨大なハリボテ大仏」、
- 「品川の名のついたシナガワハギ」
- 「鈴ヶ森料亭街のRAA」
- 「船橋人参と大井競馬場」
- 「貝塚遺跡公園にあった後樂園大森ボウル」
- 「荏原中学のそばに住んだ月形龍之介」

「昭和初期の品川花街」

「土蔵相模の文献資料」

どちらかというとなれなくない項目、余りに細かいのでどうでもいい項目、知ったからと言って特に役にも立たない項目、ああそうだったかと思ひ出す項目、マニアックな内容ですが、初耳の方も多いうので、関心を以って熱心に質疑された方もいました。

品川区 初のコミュニティバス 「しなバス」運行開始

3月28日(月)午後から、JR西大井駅前とJR大森駅を品川区が運営し東急バスが運行する品川区コミュニティバス(しなバス)が走り始めました。途中駅は、西大井駅前(マクドナルド前)、大井原町、西大井2丁目、伊藤学園前、品川歴史館北、さくら会前、大森駅北口(日立大森ビル前)です。

料金は220円で前払いですが、シルバーパスも利用できます。豊、二葉、西大井、南大井の方々は品川歴史館へバスで直行できます。このため、しなバス専用の品川歴史館前やさくら会前に停留所が新設されています。東急バスのマイクロバスを使用し、前乗り前降りで、運行は、平日・休日同じです。運行間隔は、時間帯により多少異なりますが概ね30分に1本運行されています。



西大井駅前

大森駅北口

「ぶらり途中下車」で地元2箇所を放映

日本テレビで2022年3月19日9時25分から放映された「ぶらり途中下車の旅」は大森駅をスタートにした京浜東北線の旅で、旅人は横山由依さんでした。京浜東北線は埼玉県の大宮駅から、神奈川県横浜駅までの全長59.1kmを36駅で結ぶ、埼玉・東京・神奈川の一都二県を走る便利な通勤電車です。大井町駅と大森駅が最寄のわれわれに身近なJR路線です。冒頭、大森駅から「しながわ花海道」を訪れ、次に西大井2丁目5-15の「超蜜やきいも pukupuku」に立ち寄りしました。



しながわ花海道：勝島運河の防潮堤を利用し、地元商店街の皆さんが中心となって、およそ2キロにわたる区間で菜の花を育てています。

品川歴史館リニューアル工事休館

品川歴史館は展示室を含めた設備機器のリニューアル工事を行います。このため、7月1日から令和6年春まで休館となります。休館前には、昭和60年から現在までの企画展や特別展を振り返る「展示でみる品川歴史館37年間のあゆみ」を特別展示し、歴史館の歴史を回顧しています。また、現館最後の企画展だった「品川用水」の際に展示された資料の一部を再展示しています。



履歴紹介コーナー展示案内

品川区立環境学習交流施設 エコルとごし5月1日OPEN!

戸越公園内に建設中の「品川区立環境学習交流施設 エコルとごし」が5月1日に開館します。省エネ建物の中にある大型映像や常設展示で学び、コミュニティラウンジで交流する仕掛けで、品川歴史館とも連携する予定です。



開館目前のエコルとごし

品川宿史談会 第十四回講演会 『尾張屋』大橋家の先祖をたどる物語

4月17日(日)14～16時、品川第一地域センター第一集会室で北品川二丁目尾張屋先代4代目大橋真氏と現5代目当主大橋真氏が講演し、30余名が聴講しました。



4代目大橋真氏(左)・5代目登氏(右)の講演

南品川宿の呉服屋尾張屋は明治23年(1890年)創業で今年創業132年になります。品川地域の町の伝統を伝える老舗として店頭に神輿を鎮座させ、地域の伝統を伝える老舗です。

本家尾張屋は、天保年間(1830年代)、岐阜大橋村(苗字大橋の由来)から江戸・増上寺の火災後の再建を請負った岐阜の宮大工嘉七が興しました。幕末には現在の呉服店

の隣・元目黒川沿いで材木店を開業、配下の宮大工に品川神社の神輿を作らせ、品川神社に奉納し、以来、品川神社の祭礼でこの神輿を担いでいます。

嘉七の息子大橋清太郎氏は盲目の政治家高木正年の薫陶を受け、品川町議、同町長、東京市議、東京府議、同議長を経て、昭和14年、衆議院議員補欠選挙で初当選、昭和17年の第21回衆議院議員選挙でも当選しました。一方、趣味人として、俳号、(大橋)「杣男(そまお)」を名乗り高浜虚子主宰「ホトトギス」同人として俳界に名を遺し品川地区で句会を開催しています。

清太郎の兄姉登羅(とら)は京都の春三郎を養子に迎え呉服屋を興し、これが現在に続いています。本家筋は清太郎の息子一郎に嫡男がいなかったため、本家を呉服屋に譲り、宮大工・材木商だった尾張屋の本家の屋号「山力」を引き継いでいます。

寄稿

記憶から消え去る地域情報 副会長 野口 健夫

前回ご紹介したところ、色々な方から実際の体験談が寄せられました。春秋園事件に関しては、初耳の方も多かったようなので、少し資料を追加してご紹介します。なお、絵葉書は坂本会長がオークションに参加しましたが、落札できませんでしたので、ネット掲載情報を主体にご紹介します。

また、一部の方から照会がありました、東京都における戦後の大災害、寶組勝島倉庫の爆発火災に関する情報等も掲載しました。

大井 1 丁目の中華料理店 春秋園(補遺)

広告の記事から、春秋園は、現在の阪急を含む西口全域に工場を構えていた、後藤毛織創業者の本邸跡に造られたことが分かります。ここはジンギスカン鍋が有名だったとのこと。



春秋園全景写真



春秋園の新聞広告

(カッコ内に旧後藤本邸と書かれています)



造反力士の一部がチョン髷を切っているのが確認できる集合写真です

品川区 寶組勝島倉庫爆発火災

災害は忘れたところに…と言います。58年前に起きた大事故・勝島倉庫爆発火災とは、昭和 39 年(1964)7 月 14 日 21 時 55 分に大井消防署管内・品川区勝島 1 丁目 4-18 にあった寶組の危険物保管倉庫で発生した爆発火災です。倉庫内の空き地に無許可で野積みになっていた、自然発火性が強く、着火すると激しく燃焼する危険物の硝化綿（ニトロセルロース）入りドラム缶（約 1200 本）が夏の炎天下により自然発火し、敷地内に保管されていたアルコール類等の大量の危険物に次々と引火し爆発火災になりました。

さらに火災発生から 1 時間後に、無許可貯蔵の自然発火性が強く、強い衝撃や日光に当たると分解し、発火することがあるメチルエチルケトンパーオキサイドに引火して大爆発を起こしました。

最高ランクの出場態勢である「火災第四出場」が初めて指令され、ポンプ車など 138 台をはじめ、当時所有していた全ての化学消防車 22 台、海側からは消防艇 7 隻など、東京消防庁始まって以来の大規模な消防態勢を投入して消火活動に当たりましたが、この爆発により付近の建物が崩壊し、その場で活動していた消防隊が瓦礫の下敷きになり、19 名の消防隊員たちが殉職しました。

- ・建物被害：計 25 棟全半焼、7563 m²焼損
- ・人的被害：殉職者 19 名（内消防団員 1 名）
負傷者 114 名（消防署 80 名、
消防団 9 名、警察署 2 名、一般人 23 名）

その後法改正が行われ、「危険物安全の日」もそれまでの 6 月 20 日から宝組勝島倉庫爆発火災の 7 月 14 日に改められた。

昭和 41 年 7 月、殉職者 20 名（心労で逝去された事業所社員 1 名を含む）の御霊を「二十神霊」とし、類似災害発生防止と安全

を祈願し、勝島攘災招福堂が建立しました。なお、勝島攘災招福堂は民間事業所構内にあり、外部一般人の無断立ち入り、参拝は固く禁じられていますのでご注意ください。

日本体育会旧制荏原中学と月形龍之介

月形龍之介(つきがた りゅうのすけ)は、本名は門田 潔人(もんでん きよと)ですが、月形龍之介の前に別名の月形 陽侯(つきがた はるさぶろう)、中村 東鬼蔵(なかむら ときぞう)、門田 東鬼蔵(もんでん ときぞう)を名乗っています。

1902年(明治35年)3月18日、宮城県遠田郡小牛田村(現 美里町)に父・政司郎、母・ちとせの次男として生まれました。1906年(明治39年)、北海道岩見沢町で橘屋という劇場を経営していた母方の伯父・門田養吉の養子となり、成長すると活動写真や芝居に親しむようになりました。伯父の橘屋劇場が焼失し、養父が東京に出かけたので岩見沢に転居してきた実父母宅に預けられましたが不幸にも実父母宅も焼失し、学業に見切りをつけ、1914年(大正3年)、岩見沢尋常高等小学校を1年で中退して、酒屋「万屋」に奉公し、1年後には呉服屋に奉公しました。その後、旧友の通学姿に発奮し、農学校の給仕になって勉強を始めました。

1916年(大正5年)、橘屋が焼失して東京に出、立会川にあった旧制荏原中学校の寄宿舎を経営していた伯父門田養吉を頼って上京し、大井町濱川にあった旧制荏原中学へ編入しました。剣道は三段の腕前で道場荒らしをしたほどでした。旧姓荏原中学は三船十段が指導するほど柔道が盛んですが、彼は、柔道より剣道が得意でした。

ここで、女学生と恋愛問題を起こし中退

する羽目に至り、養父だった伯父の逆鱗に触れ、浜川の家を出て、三田英語学校に転学し、三田英語学校の寮に住み込みます。

1917年(大正6年)、東京電機に入社、1918年(大正7年)に幡ヶ谷のタングステン工場に勤めますが、翌1919年(大正8年)に恋愛関係にあった旧家令嬢志村サトと京都へ駆け落ちし、自活をするため映画俳優を志し、われわれの知る俳優月形龍之介が誕生します。

映画俳優として活躍し、テレビドラマにも出演し、スターの座に駆け上ります。なお、1939年(昭和14年)11月上映の映画「海援隊」では坂本龍馬役を演じています。数々のドラマに出演し大



海援隊での坂本龍馬役

活躍しましたが、1970年(昭和45年)8月30日68歳の時京都で没しました。

当会に関連した催し情報

葛飾北斎関連展示会

-いまなぜか北斎展が賑やか-

1. 大英博物館 北斎 -国内の肉筆画とともに-
会 場：サントリー美術館
港区赤坂9-7-4 東京ミッドタウン
期 間：4.16-6.12(火曜日休館)
入場料：1700円
2. 北斎とライバルたち
会 場：太田記念美術館

渋谷区神宮前 1-10-10

期 間：4. 22-6. 26(月曜日休館)

入場料：1000 円

3. 北斎花らんまん -四季の花が見頃です-

会 場：すみだ北斎美術館

墨田区亀沢 2-7-2

期 間：3. 15-5. 22(月曜日休館)

入場料：1000 円

(注：御殿山花見の図が展示されています)

郷土・郷土史関連図書情報

品川区内地域や郷土史に関連した図書を紹介します。興味のある方は、書店等で入手するか近くの公立図書館などで閲覧下さい。

1. 眠れないほどおもしろい吾妻鑑

大河ドラマで盛り上がる「鎌倉殿」鎌倉幕府の「公式レポート」が『吾妻鏡』で、既に各種の本が出版されていますが、なかなか全貌を掴むまで読み込むのは大変です。漫画交じりの解説本ですが源頼朝、北条義時、後鳥羽院、北条政子、品川ゆかりの梶原景時…らの要所は抑えていますので気楽に読むには最適です。

著 者：板野 博行

発 行：三笠書房

判 型：文庫判

頁 数：296 頁

価 格：858 円

発売日：2021 年 12 月 1 日

ISBN 9784837969860

2. 「隠しアイテム」で読み解く春画入門

従前は人前で憚れ手にしにくかった春画関係本でしたが、大英博物館や国内諸々博物館で大々的に公開展示され、現在は秘匿物でなく研究対象や鑑賞対象になっています。

特に、日本では、前法政大学長 田中優子、江戸風俗研究家 車浮代・杉浦日向子、明治学院大学講師 橋本麻里(高橋源一郎息女)、国際日本文化研究センター助教 石上阿希などこの分野の研究は女性陣の活躍が目立ちます。現在は、アラサー女子や同人誌女性作家に受け入れられ、老若男女の区別なくブームで色々出版されています。その中で、久々に男性執筆者の登場です。絵中の行為場面以外に注目し、エロだけじゃない、その美しさ、オモシロさを解説する入門書で、江戸の庶民の風俗を多くの図版から読み解き深掘する趣向の本です。

著 者 鈴木 堅弘

出版社 集英社インターナショナル

価 格 990 円(税込)

頁 数 272 頁

発売日 2022 年 2 月 7 日

判 型 新書版

ISBN：978-4-7976-8094-2

3. 地図で読み解く東急沿線

以前紹介した「地図で読み解く東急沿線」の姉妹書増刷版です。貴重な地図資料や写真から東急 100 年の歴史を明らかにしつつ、沿線の謎と不思議について深く知ることができます。巻頭で

- ・地形の凸凹がわかる！ 東急沿線 3D 地図
- ・車両写真でふり返る 東急 100 年の歴史、を紹介、Chapter4 大井町線・世田谷線編で、

- ・田園都市線の起点駅だった高度経済成長期の大井町駅【大井町駅】
- ・駅名と地名が短期間で変更 下神明と戸越公園の歴史【下神明駅】【戸越公園駅】
- ・中延駅から1キロの範囲に5つもの鉄道路線が集中【中延駅】【荏原町駅】
- ・大井町線と池上線の駅が統合し誕生した旗の台駅【旗の台駅】【北千束駅】【緑が丘駅】が紹介され、

引き続き、Chapter5 目黒線・東急多摩川線・池上線編では、

- ・高速電車が初の山手線接続 目黒競馬場もあった目黒駅【目黒駅】【不動前駅】
- ・都内一のアーケードを有し武蔵小山に根付いた商店街【武蔵小山駅】【西小山駅】
- ・大学を誘致した大岡山と田園都市発祥の地・洗足【洗足駅】【大岡山駅】【奥沢駅】
- ・昭和初期に幻に終わった五反田駅からの延伸計画【五反田駅】
- ・大崎広小路駅と戸越銀座駅 その駅間にあった桐ヶ谷駅【大崎広小路駅】【戸越銀座駅】
- ・似た名前の東急の駅が洗足池周辺に密集する謎【荏原中延駅】【長原駅】【洗足池駅】が記されています。気楽に、アルアル的な感じで読めます。

監修者：岡田 直

出版社：三才ブックス

発行日：2021年4月5日

版 型：A5 版

頁 数：1607 頁

定 価：1870 円(税込)

ISBN 9784866732442

当会の関連行事について

第470回例会お知らせ

第470回例会は久しぶりに新緑の中を散策したいと考えています。詳細は未定ですが、2-3時間の散策する予定です。

散策要領や出欠確認は、追って往復はがきで、ご案内いたします。

日 時：5月28日(土) 13時30分-

集合場所：京浜急行鮫洲駅改札口(予定)

散策場所：京浜急行立会川周辺(予定)

案内人：野口副会長

参加費：不要

第471回例会お知らせ

第471回例会は、座学とします。詳細は未定ですが、内容や出欠確認は、追って往復はがきで、ご案内いたします。

日 時：6月25日(土) 13時30分-

場 所：中小企業センター小会議室

演 題：未定

講 師：未定

参加費：500 円

(復刊123号おわり)

品川郷土の会や本誌についてのお問合せは、
〒140-0001 品川区北品川3-6-13-503
携帯電話 080-5497-4633 坂本まで
会長 坂本 道夫